

■殺虫剤：農業・家庭園芸用

有機リン系

ダイアジノン[®]粒剤3

登録番号：7288

毒性：－

消防法：－

有効年限：4年

成分 ダイアジノン……3.0%

物理的・化学的性状 淡黄褐色細粒

包装：3kg×8 1kg×20

◆特長

○ガス効果が高く、ケラ、コガネムシ類幼虫、タネバエ等の土壌害虫に優れた効果があります。

◆適用と使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ダイアジノンを含む農薬の総使用回数
かんしょ	コガネムシ類幼虫	5～10kg/10a	作付前及び 収穫30日前まで	3回以内	土壌 混和	3回以内 (マイクロカプセル剤の 植付前の処理は1回以 内、マイクロカプセル 剤の散布は2回以内、 粒剤の散布は2回以内)
	ケラ ネキリムシ類	6～9kg/10a	植付前	1回		
ばれいしょ						3回以内 (植付前の土壌混和は 1回以内)
キャベツ	コガネムシ類幼虫	5～10kg/10a				2回以内
	ケラ ネキリムシ類	6～9kg/10a	収穫30日前まで	2回 以内		2回以内 (粒剤の生育期の処理は 1回以内)
カリフラワー ブロッコリー	コガネムシ類幼虫	5～10kg/10a				
レタス	ケラ ネキリムシ類	6～9kg/10a	は種時又は 植付時	1回		2回以内
	コガネムシ類幼虫	5～10kg/10a	植付時			
はくさい	ケラ ネキリムシ類	6kg/10a	は種時	1回		1回
	コガネムシ類幼虫	5～6kg/10a				
トマト ピーマン とうがらし類	ケラ ネキリムシ類	6～9kg/10a	は種時又は 植付時	2回 以内	3回以内 (生育期は2回以内)	
	コガネムシ類幼虫	5～10kg/10a	植付時	1回		
きゅうり	タネバエ	5～8kg/10a	は種時又は 植付時	2回 以内	2回以内	
	ケラ ネキリムシ類	6～9kg/10a				
	ウリハムシ幼虫					
	コガネムシ類幼虫	5～10kg/10a				

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ダイアジノンを含む農薬の総使用回数
すいか かぼちゃ メロン	タネバエ	5～8kg/10a	は種時又は 植付時	2回 以内	土壌 混和	4回以内 (粒剤の生育期の処理は 3回以内)
	ケラ					
	ネキリムシ類	6～9kg/10a	植付時	1回		
	ウリハムシ幼虫					
コガネムシ類幼虫	5～10kg/10a					
なす	ケラ	6～9kg/10a	は種時又は 植付時	2回 以内		3回以内 (粒剤の生育期の処理は 2回以内)
	ネキリムシ類					
だいこん はつかだいこん	ケラ	6～9kg/10a	は種時	1回		2回以内 (生育期は1回以内)
	タネバエ					
	コガネムシ類幼虫					
ねぎ わけぎ あさつき	タネバエ	5～8kg/10a	は種時又は 植付時	2回 以内	2回以内	
	コガネムシ類幼虫					
たまねぎ	タネバエ	5～8kg/10a	は種時又は 植付時	2回 以内		
	ケラ					
	コオロギ	3～5kg/10a	植付時			
	タマネギバエ					
コガネムシ類幼虫	5～10kg/10a					
いちご		6～9kg/10a	植付時(仮植床)			
豆類(種実)	ケラ	5～9kg/10a	は種時	1回		だいいは6回以内(種子粉衣 は1回以内、粒剤は5回以内 (生育期の処理は4回以内))、 あずきは4回以内(種子粉衣 は1回以内、は種時の処理は 1回以内、生育期の処理は3 回以内)、いんげんまめは3回 以内(種子粉衣は1回以内、 粒剤は2回以内)、らっかせい は1回、上記以外の豆類(種実) は4回以内(種子粉衣は1回 以内、粒剤は3回以内)
	コガネムシ類幼虫					
	タネバエ					
たばこ	コガネムシ類幼虫 ネキリムシ類 ハリガネムシ類	6～9kg/10a	植付前		1回	

ラベルをよく読み、ラベルの記載以外には使用しないで下さい。

◆注意事項

- (1)使用量に合わせ秤量し、使い切ること。
- (2)畑作物の土壌害虫防除に使用する場合は下記の事項に注意すること。
 - ①使用薬量は全面処理の場合の薬量であるので、作条処理の場合は処理面積に応じて薬量を減ずること。

- ②植付前又は播種前に土壤全面又は作条に処理し土壤とよく混和すること。なお、コガネムシ類幼虫に対して作物の生育期に使用する場合は作条処理し軽く覆土すること。
- ③たばこに使用する場合植穴処理では薬害を生じることがあるのでさけ、作条の土壤になるべく幅広く散布し土壤とよく混和してから植付けること。たばこは薬害を生じやすいので散布及び混和むらがないように特に注意すること。
- (3)いちごに対しては仮植床のみの使用とし、本圃では使用しないこと。
- (4)ミツバチに対して影響があるので、ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにすること。
- (5)適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- (6)取扱及び保管上の注意、漏出時の措置、廃棄上の注意、輸送上の注意、火災時の措置については、11ページ、12ページを参照すること。

◆安全使用上の注意

- (1)取扱いには十分注意すること。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせること。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けること。
- (2)散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。また粉末を吸い込んだり浴びたりしないよう注意し、作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをする。
- (3)作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
- (4)かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。

◆魚毒性

- (1)水産動植物（甲殻類、ドジョウ、ボラ）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。比較的low濃度でも魚が平衡失調等を起こすので、養殖池等周辺での使用はさけること。
- (2)散布器具及び容器の洗淨水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。